



大塚地区のイチオシ！

## 子どもの声響く地域を目指して ～地域の子どもを育てる会～



令和6年12月の活動を一部紹介。  
▲書き初め勉強会。美しい文字の書き方を学べ、冬休みの宿題もできる一石二鳥のイベントです。  
◀餅つき会。杵と臼で餅をつき、できたてを食べるといふ貴重な体験ができました。

宇賀荘・吉田・大塚に校区がまたがる南小学校。その南小学校に通う子どもたちを対象に、交流活動を行う団体があります。団体名は「地域の子どもを育てる会」で、交流センターや学校の関係者、地域の有志など21人が所属。校区内の地区社会福祉協議会からの協力を受けながら、事務局である大塚交流センターが中心になって活動しています。

活動の目的は、ふるさとの人や自然とのかわりを通じて、親しみや愛着を持ち、思いやりのある優しい心を持った地域の子どもを育てること、また、それにより地域に活力を生むことです。楽しく有意義に交流することを信条に、ときには地域の人の協力を得ながら、おたのしみ会（バーベキュー）、夏まつり（秋葉祭で設置したヨーヨーコーナー）での交流イベント、季節の催しなどを実施。参加児童の多くが活動日を楽しみにしており、欠かさず参加している子もいます。

事務局の大塚交流センター・宮田玲館長は「大塚地区は、交流センター横にこども園もあり、その付近は賑やかです。しかし、離れるにつれ静かな場所が増えていき寂しく思っています。団体の活動を通じて、子どもたちには、地域を目一杯使って遊ぶ元気な子に育ってほしいです」と明るい声が満ちる大塚の未来への思いを寄せました。

## 編集後記

▼私自身が幼い頃と私の子どもが幼い頃に読んでいた絵本と「親子の為の絵本の読み聞かせ会」で再会しました。特に小さい子向けは、今も昔も定番絵本が好まれているようでした。毎日あわただしくても、子どものため、自分の楽しみや息抜きのために読み聞かせの時間を持ちたいものです（たすね）

▼先月号では特殊な編集後記となったため、今回は2力月分の振り返りを。「歯と食のフェスティバル」ではコロナ禍にやめていた8020表彰式が復活。対象者数人と話し、口腔の状態は身体にも精神にも影響するということを実感しました。皆さんとても元気で明るく、エネルギーをわけていただいた1日でした（岩）

安来市の人口と世帯数 R6.12.31現在

人口合計／ 35,112人  
(男:16,940人 女:18,172人)  
世帯数／14,253世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。  
●自治会宛の発送等については、地域振興課（☎23-3067）までご連絡ください。